

## 県内の患者数

矢印は、前週の数に対して、増加 減少 横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 3,011	1,720	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 57	53	ヘルパンギーナ	→ 5	4
咽頭結膜熱	↘ 11	17	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 36	62
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	↘ 64	119	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↘ 751	1,069	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 1	10
水痘	→ 82	83	細菌性髄膜炎	→ 1	1
手足口病	→ 1	2	無菌性髄膜炎	→ 0	1
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 7	3	マイコプラズマ肺炎	↘ 4	7
突発性発しん	→ 43	42	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- 水痘

- インフルエンザは、報告数 3,011件(前週報告数1,720件)と急増。地区別では、菊池、八代、人吉に多く報告がみられる。年齢別では、10～14歳の653件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 感染性胃腸炎は、報告数751件(前週報告数1,069件)と減少、なお、警報が継続中。地区別では、山鹿、宇城、人吉に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の111件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 水痘は、報告数82件(前週報告数83件)と前週とほぼ同数。地区別では、宇城、天草、菊池に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の25件を最多に15～19歳以下からの報告である。

## ◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	1164	10	4	31	198	30	0	3	15	0	3	14						1
山鹿保健所	113	0	0	0	92	1	0	0	1	0	0	0	*	*				
菊池保健所	462	4	2	4	76	8	1	0	10	0	0	7						
阿蘇保健所	43	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	*	*				1
御船保健所	49	0	0	0	26	2	0	0	0	0	0	0	*	*				
八代保健所	416	8	0	4	61	0	0	0	2	0	0	3						
水俣保健所	27	7	0	1	5	1	0	0	2	0	0	2	*	*				
人吉保健所	279	2	0	6	65	3	0	0	0	0	0	0	*	*				
有明保健所	145	1	5	5	102	8	0	1	5	0	0	0		1	1			2
宇城保健所	119	21	0	2	78	16	0	0	3	0	0	7						
天草保健所	194	4	0	11	38	13	0	3	5	0	2	3						
計	3011	57	11	64	751	82	1	7	43	0	5	36	0	1	1	0	4	0

## ◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
インフルエンザ	3011	10	35	98	114	187	239	253	223	216	188	198	653	98	80	157	123	56	37	29	17	
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
RSウイルス感染症	57	13	10	28	3	3																
咽頭結膜熱	11			4		1	1	3	2													
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	64	1		2	4	8	10	8	7	8	1	3	6	2	4							
感染性胃腸炎	751	6	53	111	59	72	54	56	47	27	34	29	103	24	76							
水痘	82	2	9	25	15	10	6	7	3	1			3	1								
手足口病	1						1															
伝染性紅斑	7			2		1	1		3													
突発性発しん	43		23	17	3																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	5			1		1	1		2													
流行性耳下腺炎	36			2	7	6	4	4	3	2	4	2	2									
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	1															1						
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎	1			1																		
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	4			2	1				1													
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

インフルエンザ : 熊本・山鹿・菊池  
八代・人吉

感染性胃腸炎 : 山鹿・菊池・八代  
人吉・有明・宇城

インフルエンザ

インフルエンザが警報レベルを超えました。地域別では、菊池、八代、人吉、熊本が大きく警報レベルを超えています。また、御船や水俣は、注意報の基準値未満ですが、今後報告が増加する可能性があり注意が必要です。インフルエンザは、突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。インフルエンザを予防するために、①流行時には人混みを避ける②手洗い・うがいを習慣づける③栄養、休養、睡眠を十分に取る④部屋の換気と保湿に心がけるなどの対策を行いましょう。もし、インフルエンザにかかってしまった場合は、学校や職場へは無理して行かず、早めに医療機関を受診し治療を受けましょう。また、周りの人へうつさないために、咳エチケットを心がけ、外出を控えるようにしましょう。

